



ごあいさつ



SK松本ジュニア合唱団
団長 芦田勝弘

本日は年末を迎へ何かとお忙しい中「SK松本ジュニア合唱団 2019 クリスマスコンサート」にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

当合唱団は1993年のSKF(サイトウキネンフェスティバル松本=現OMF(セイジオザワ松本フェスティバル))が上演したオペラ「火刑台のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、SKの文字を誇りに、地域に愛される合唱団を目指し活動を続け、26年の歴史を重ねるまでになりました。

今年も高校3年で卒団となる団員とは最後のステージになる「スプリングコンサート」や県下の少年少女合唱団が一堂に集まる「長野県少年少女合唱祭」、更に「お城deハーモニー」「クロネコファミリーコンサート」「長野県童謡・唱歌フェスティバル松本」での演奏、2泊3日の夏合宿、また地域の大型商業施設「イオンモール」でのコンサートの開催など地域の方々に支えられながら充実した活動ができました事に感謝申し上げます。

当合唱団の四半世紀の活動からOB・OG会は現役団員数を大きく超えるまでに育つてきましたし、国内外で活躍するプロとして、また地域のリーダーとして音楽に関わりながら活動する卒団生も大勢生まれています。SKFが蒔いた種が、この地域にあります大きな音楽の文化を開花させることを願っています。

本日の第1ステージはクリスマスらしくA Ceremony of Carols(キャロルの祭典・ベンジャミン・ブリテン作曲) ウエストミンスター大聖堂少年合唱団のために作曲された作品と言われていますが、当合唱団が自信を持ってお送りする天使の歌声でお聞きください。

第2ステージは三善晃作曲の子どものための合唱曲集「光りのとおりみち」「風のとおりみち」で、さわやかな子どもたちの歌声が響きわたります。

第3ステージは「オルガンと楽しいクリスマスを」です。クリスマスって何だろう……クリスマスの定番曲などをオルガンとともににお届けします。

それでは本日のコンサートを十分お楽しみください。



キッセイ文化ホール
館長 金井貞徳

本日は、「SK松本ジュニア合唱団 2019 クリスマスコンサート」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

「SK松本ジュニア合唱団」は、私どもキッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)が開館した翌年、1993年の「サイトウ・キネン・フェスティバル松本(SKF)」で上演されたオペラ「火刑台のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団が母体となり、結成された合唱団です。それ以来26年、キッセイ文化ホールの良きパートナーとして、素晴らしい活動を展開しております。

指導スタッフの皆さんのお口ぐせは、「子ども達はすごい!」とのこと。それは、子ども達の無限の可能性を信じる指導者の深い思いがあるからこそ言葉であり、その熱意と音楽を愛する思いが、子ども達の美しいハーモニーを引き出し、私たちに感動をもたらしてくれます。

そうして26年の活動の中から育った皆さんが、プロとなり、あるいは地域のリーダーとして、音楽を通して社会貢献をされていることは、この活動の真の意義を象徴するものと言えます。芦田団長様をはじめ関係者の皆様の長年にわたるご尽力に、深く敬意を表する次第であります。

キッセイ文化ホールは、現在大規模耐震改修工事を行っており、来年8月リニューアルオープンいたします。その時には、合唱団の皆様をはじめ、会館においでいただけます様が、安全で快適にコンサート等を楽しんでいただけるように改修に努めております。

合唱は歌声を通して音楽を愛し仲間と調和する想いが、聴き手に伝わっていきます。本日の演奏会が、音楽の喜びに満ちた心豊かなひとときとなることを願う次第です。

結びに、SK松本ジュニア合唱団の今後益々の発展と、御参会の皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申しあげ、お祝いの言葉とさせていただきます。